

2023年度スピリチュアルケア専門講座 講義概要

前 期

科目名	講義テーマと内容	講師	講義日程
現代社会と スピリチュアリティ	テーマ:均質化する社会・される個人...責任から逃避する態度への問い 自らの安定のために、社会の合理的と思える権威に従い、均質化される生き方に疑問を抱かない人が増えている。改めて、個々の責任ある態度から一人ひとりが、かけがえのない存在になっていくことを検証する。	佐藤俊一	2023年 4月23日 5月14日
スピリチュアルケア 原論	「スピリチュアル」と「ケア」の二つに分けて、それぞれの特徴を明らかにする。スピリチュアルケアの実践に向けての基本的知識と情報を明らかにする。スピリチュアルケアと宗教や心理的ケアの違い、また、キユア（治療）とケア（配慮）の違いなどを明確にする。更に、スピリチュアルケアの歴史、ケアする人に必要な能力など。スピリチュアルケアは患者や利用者にとってどんな援助か。患者のスピリチュアルペイン（痛み）、ニーズ（必要）のアセスメントにも触れる。	窪寺俊之	2023年 4月23日 5月14日
保健医療と スピリチュアリティ	テーマ：死を前にした患者をどう支えるか 緩和ケアの本質は厳しい病状の中でも「生を肯定して」生きられるよう支援することである。緩和ケアにおけるQOLの考え方や患者の支えを強めるために何ができるか、臨床の現場での取り組みを紹介する。	坂下美彦	2023年 6月10日
	テーマ：社会と個人の健康を考える力を養う 医療の現場では人生の危機に直面して「人間らしく」「自分らしく」生きることが難しい状況が多くみられる。その中からスピリチュアリティに関係する領域を一つ取り上げ、検討する。	新井公人	2023年 6月10日
宗教と スピリチュアリティ	テーマ：宗教や価値観の理解への抵抗や遠慮、可能性と限界 私たちの生き方に及ぼす影響から、キリスト教、仏教、神道や儒教、そして今後の関わり増加が予想されるイスラームなどを視野に入れた、スピリチュアルケアの実践を考える。	葛西賢太	2023年 6月18日
対人援助論(1)	テーマ：対人にかかわる実践力を磨く（1） 教育の高度化や専門化という方向性から、頭で考えることが優先している現状がある。ここでは臨床的態度を学ぶことで、気持ち動いて行動できるという実践力を身に着けることを行う。	佐藤俊一	2023年 8月6日

後 期

科目名	講義テーマと内容	講師	講義日程
精神医学とスピリチュアリティ	人類は有史以前から群れで生活しており、助け合いがあり、医療、介護もあった。現在まで影響を与えている古代ギリシャの医療における「ヒポクラテスの誓い」が未だに先進国の多くで用いられている。しかし現代医学は自然科学の発達に合わせてその一分野として発展してきたが、科学性のみに焦点が向き、患者さんの苦痛、苦悩、死の恐れなどを考慮することが少なくなり、現在は科学的医療から全人医療へと先進国は舵を切っており、その中で精神の階層性、スピリチュアリティが認識されている。	日下忠文	2023年 9月18日 10月15日
臨床心理学とスピリチュアリティ	テーマ：つながりあう「いのち」を生きる 心理臨床の場でもスピリチュアルケアの実践でも、こころのケアにおいては、「相手の必要に応える呼応の関係」が基本となる。それには、刻々と変化する場での自己理解と相手の理解が同時に進む、「今、ここで」の自己覚知に基づく相互の理解が重要になる。自他の理解に基づく呼応の関係のさまざまな形を通して、相手と「ともに居る」、「ともに生きる」在り方を探究する。	木村登紀子	2023年 9月18日 10月15日
対人援助論(2)	テーマ：対人にかかわる実践力を磨く こころのケアの現場には、大なり小なり「生きることへの問」が潜んでいる。相手からの自覚的あるいは暗黙の呼びかけに気づき、相手の必要に応えつつ呼応の関係をともに生きることが大切であろう。そのための実践力を少しでも身に着けるべく模索する。	木村登紀子	2024年 1月28日
対人援助論(3)	テーマ：対人にかかわる実践力を磨く(3) 他者の中に働くさまざまな価値観や力動を大切にしつつ、ケア者もその力動のなかの一つの要素として関わる。ケア者の自己理解の深まりが求められる。それらを大切にす援助演習をおこなう。	伊藤高章	2023年 12月3日
臨床哲学とスピリチュアリティ	テーマ：ケアの原点...人間は、お互いにケアしあう存在である なぜ、スピリチュアリティが求められるのか。これまでの対人にかかわる科学的態度を検証し、予め方法を持たない臨床哲学から人間を理解し、ケアを生身の関係から問い直す。	佐藤俊一	2024年 3月3日 3月9日